

**令和 6 年度第 3 回三鷹市商工振興対策審議会
会議録**

- 開催日：令和 7 年 2 月 19 日（水）午後 4 時から午後 5 時 30 分まで
- 会場：三鷹市教育センター 2 階 第二中研修室
- 出席委員：平野委員、望月委員、上原委員、額田委員、姜委員、渡邊委員、森本委員、
羽田野委員、矢田部委員、酒井委員、蒲谷委員、北委員、吉田（真）委員、
大倉委員、太田委員、岩見委員、中泉委員、大城委員
- 傍聴者：なし

1 開会

【出席状況の確認】

・委員定数 20 名中 18 名の出席をもって、過半数を超えているため、三鷹市商工振興対策審議会条例第 6 条第 2 項に基づき会議は成立。

【会議の公開及び傍聴人の決定について】

・三鷹市市民会議、審議会等の会議の公開に関する条例第 6 条に基づき、会議開催の事前公表を令和 7 年 2 月 5 日よりホームページにて実施し、2 月 14 日午後 5 時まで傍聴希望者を募集した。
・傍聴希望者なし。

【会長挨拶】

・額田会長より挨拶

【副市長挨拶】

・馬男木副市長より挨拶

【会議録について】

・三鷹市市民会議、審議会等の会議の公開に関する条例第 9 条及び第 10 条に基づき会議録を作成し、決裁後閲覧に供する。

2 議事

【議題（１） 諮問事項・三鷹市産業振興計画 2027（最終案）について】

＜馬男木副市長より諮問及び提案理由の説明＞

＜事務局より補足説明＞

・資料 1 ～ 3 を使用して説明

<質疑・応答>

[委員]

・計画策定にあたり消費者団体、商工会等様々な団体からの声は聴いていると思うが、パブリックコメントが1名6件しかなかったことが残念に思う。計画の段階から市民を巻き込み一緒に考えていくような取組ができればよかったという思いがある。

[事務局]

・限られた期間で募集しているパブリックコメントについては少なかったが、関係団体を始め、様々な事業及び会議の機会を捉え、丁寧に意見を聴取してきた。また、上位計画である「第5次三鷹市基本計画」の策定段階においても「三鷹市市民参加でまちづくり協議会」(愛称:Machikoe (マチコエ)) による取組を中心に多くの方の意見を取り入れている。

[委員]

・パブリックコメントは市民一人ひとりの意見を聴取する貴重な機会であるため、広報やホームページで周知するだけでなく、市民個人としての意見を引き出す努力をすべきであったと思う。本計画で目標としている「産業と生活が共生する都市」を実現していく上で、産業及び商工業を支える市民の目線は大事であるため、今後配慮いただきたい。

[委員]

・資料3の「第2章 計画策定の背景」「1 三鷹市産業振興計画2022(第2次改定)の取組状況」に「新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を始めとする厳しい経済情勢等により」(4ページ目5行目)とあるが、同ページの表からも分かるように新型コロナウイルス感染症の感染拡大前から事業所数や製品出荷額などの実績値は大幅に下落しており、表現が異なるのではないか。そもそもの産業振興がうまくいっていなかったという認識を持ち、計画に反映させるべきではないか。

・資料1の《意見②》「みたか地域ポイント」について、前回会議において費用対効果の面で課題があると指摘をしたが、《対応》については取組名を変更しただけとなっており、指摘に応えられていない。

[事務局]

・「みたか地域ポイント」については、令和6年2月に企画経営課で策定した「三鷹市地域ポイント事業基本方針」において、「コミュニティ活動の参加促進」と「地域経済の活性化」の2点を大きなコンセプトとしている。前者については、毎年、環境・健康・文化・子育て等テーマを設定し実施することで、市民のかたの健康増進に寄与している。後者の「地域経済の活性化」については、令和6年4月に本格運用が始まったが、すぐに実を結ぶものではなく、産業振興の観点で市民の方にうまく活用していただき、商用利用にも発展していくもの

である。域内循環の仕組みを商店街の皆さまと連携し作り上げていくためには、ある程度長期的な取り組みが必要である。本計画は4年間の計画ではあるが、施策の柱のひとつである商店街支援の推進においてこれを活用した商店街の活性化を主な取り組みとして挙げている。

[委員]

・ポイントがあるからお店に行くということは入口でしかない。そこで掴んだきっかけをいかに継続した顧客として獲得できるかは、個店の魅力次第である。商店街支援の推進について様々な施策を挙げているため、これらを総合的に高めていく努力が必要なのではないかと考える。

【答申】

・額田会長より「異議なし」にて答申。

【(2) その他 関係団体からの報告】

<みたか都市観光協会>

- ・みたか散策マップについて
- ・みたか観光スタンプラリーについて

<三鷹商工会>

- ・三鷹でちょい呑みハシゴ酒について

【全体について】

<質疑・応答>

[委員]

・自分自身、知識不足でパブリックコメントによる意見も言えないため、学ぶ必要があると思う。商店街の活性化においては、ただ単に儲かるだけ、賑わって活性化するだけでなく、温暖化等環境問題の観点からも、三鷹の緑を生かしながら、商店街の街路樹を植えたり、椅子を置くなど、熱中症にならないような居心地の良い空間づくりをしていただきたい。それも含めて学びの場があれば、市民も意見が言えるのではないかと思う。

[事務局]

・居心地の良い空間づくりは重要であると考えている。資料3の「第3章 計画の目標及び体系と施策」(18 ページ目)においても、理念と個別の施策をつなぐ3つの視点「居心地の良い空間づくりの視点」、「最新の情報発信の視点」、「ゆるやかにつながる交流の場づくりの視点」を施策の柱としている。

[委員]

・施策は市民が活動する枠でしかない。市民自身が子供たちも含め商店街や環境、教育等の各問題を一緒に考えていく中で、各施策が中身あるものとして実現していくよう努力していくことが大切だ。

[委員]

・市域の端に住んでおり、生活圏が市外に及ぶため、なかなか意見が言えず申し訳ない。三鷹市の商工業が減少している中で、商工業を増やしていくという目標自体が良いのかどうかについても次回以降検討していくべきではないか。自分自身、買い物もスーパーに行くことが多く、なかなか商店街を利用することも少ない。今後商店街が発展していくことは、難しい問題であると思われるため、何か工夫について議論していけると良い。

[委員]

・商店街の中でも問題意識を持っている方もおり、ワークショップ等の活動をされているため、市民も共にそれを支えていくことが大切だ。企業側の視点だけでは商店街の活性化は難しいため、市民側からそのようなご意見をいただきありがたいことだと思う。

[委員]

・三鷹駅前商店街では、「100年の森」の実現に向け、100個のプランター設置を目標とし、緑を自分たちで増やしていく活動を実施している。商店街が中心となって実施しているが、実際の活動の中からコミュニティが生まれ、より商店街を知ってもらうという流れもできている。自主的に始まった活動が商店街の活性化に繋がっているため、市民にもそのような活動を知っていただき、また参加いただくのがよい。

【事務局より】

- ・三鷹市産業振興計画 2027 については市議会に報告し、3月末に確定する。
- ・三鷹市産業振興計画 2027 が確定したら、各委員に通知する。
- ・次回開催は令和7年夏頃を予定している。

3 閉会